

地域を創るバイオマス利活用講座2015 のご案内

NPOバイオマス北海道

NPOバイオマス北海道では、バイオマスの利活用を検討されている自治体の皆さんを対象に講座を開くことにしました。あなたの地域に眠っているバイオマス資源を、地域振興(活性化)のために、有効利活用することを考えてみませんか。その一つのヒントをより現実的に提供するために本講座では、専門家による講演の後に、参加者との質疑応答や講演者とのディスカッションの時間を十分に設けることにし、またご希望の方には個別に相談にも応じることに致しました。

平成27年度は、「牛糞尿のバイオガス化」、「木質バイオマスの燃料利用」、「生ごみの資源化」の3回の講座を開講します。複数回の受講も可能です。多くの自治体の皆様の御参加をお待ち申し上げます。

<http://biomass-do.jp/wordpress/>

NPOバイオマス北海道 理事長 古市 徹

■ 対象 : 自治体職員(一般市民の参加も可)

■ 参加費 : 無料 (毎回最大30名)

お申し込み、問い合わせは裏面へ

1回目(内容確定)

9月11日(金)13:30~17:00
「牛糞尿のバイオガス化」

場所:北海道大学工学部材化棟311教室

○プログラム

- 1.総論 石井一英氏
(NPOバイオマス北海道理事、北海道大学准教授)
- 2.牛糞尿のバイオガスとしての利活用
(対談形式+質疑応答ディスカッション)
城石賢一氏(鹿追町農業振興課瓜幕バイオガスプラント建設準備室長 兼 環境保全センター係長)
町村均氏(NPOバイオマス北海道副理事長、町村農場代表取締役)
金子孝文氏(NPOバイオマス北海道理事、コーンズアンドカンパニーリミテッド顧問)

○内容

我が国の乳牛の50%が飼育されている北海道にとって、持続可能な酪農業の基盤作りは極めて重要な課題です。2012年に開始された再生可能電力の買取制度は牛糞尿のバイオガス化促進の大きな契機になっています。しかし、バイオガス化は、単に売電収入を期待できるだけでなく、悪臭の除去による地域環境の保全、消化液利用による耕種連携の促進、消化液固形物を敷料として利用にコスト削減等様々なメリットを酪農業にもたらし、地域経済のより健全な発展を可能にします。講義では、バイオガスプラントの運営者及びプラント製造者が、牛糞尿バイオガスのバイオガス化についての基本的な知識に加え、この様な牛糞尿のバイオガス化に自治体としてどのように関与し、地域経済の活性化につなげていけるかをその経験を交えて対談形式で分かりやすくお伝えすることとしています。

2回目

11月5日(木)13:30~17:00
「木質バイオマスの燃料利用」

場所:北海道大学工学部A101教室

○プログラム(予定)

- 1.総論 石井一英氏
(NPOバイオマス北海道理事、北海道大学准教授)
- 2.木質バイオマスの熱利用 船越元氏
(NPOバイオマス北海道顧問)
- 3.木質ペレット事業 岩原 榮氏
(NPOバイオマス北海道理事、小川建設工業(株))
- 4.質疑応答+ディスカッション

○内容

近年、木質バイオマスの活用事例として全国で建設が相次ぐ電力買い取り制度(FIT)を利用したバイオマス発電が注目されています。しかし、寒冷気候の北海道においては、木質バイオマスの燃焼によって得られる熱エネルギーを直接活用することで、地域に新たな雇用を生み出し、域経済の活性化に繋げる可能性があると考えられています。例えば、安価な熱エネルギーが供給されることで、冬期間農業が困難であった地域で通年農業生産が可能になります。しかし、具体的に農業への熱利用を考えるにあたって、どのような農作物を選択し、栽培・販売するのか。また、自治体として地域活性化に導いていくための事業支援のあり方なども課題となります。そこで、木質バイオマスの導入に携わってきた経験談なども交えながら、事業化に向けた手法や地域活性化等について考えてみたいと思います。

3回目

12月3日(木)13:30~17:00
「生ごみの資源化」

場所:北海道大学工学部A101教室

○プログラム(予定)

- 1.総論 藤山淳史氏(NPOバイオマス北海道理事、北海道大学特任助教)
- 2.生ごみ資源化と法律 渡部 和正氏
(NPOバイオマス北海道副理事長)
- 3.生ごみ堆肥化 山森功一氏(NPOバイオマス北海道理事、北海道衛生工業(株))
余湖智氏(恵庭市(有)余湖農園 代表取締役)
- 4.生ごみのバイオガス化事業について
石川雅敏氏
(滝川市市民生活部次長)
- 5.質疑応答+ディスカッション

○内容

古くて新しい「生ごみ」の資源化を自治体として、本格的に取り組まなければいけない時代になってきました。市民レベルの生ごみの減量化対策から、堆肥化やバイオガス化施設整備を伴う施策まで、幅広く考えて行かなくてはなりません。そして何より、生ごみの資源化は、利用者あってこそです。ごみ処理ではなく、地域の有機資源を確保するための農家や市民の声こそが重要です。今回の講座では、生ごみを取り扱う上で、自治体職員として知らなければいけない法律上の知識や解釈、そして堆肥化を実践する事業者や生ごみ堆肥を実際に使用している農家さんの声、そして日本で初めて生ごみバイオガスプラントを稼働した10年の経験について、分かりやすくお伝え致します。

地域を創るバイオマス利活用講座 申し込み用紙

(Fax: 011-706-7583にこのまま送付するか、同様の内容を電子メールにて
biomass_hokkaido@yahoo.co.jpに送付下さい)

ご氏名	・ご所属 ・電話番号 ・メールアドレス	受講希望の講義 (○をつけて下さい)
	・ ・ ・	() 1回目(9/11(金)) () 2回目(11/5(木)) () 3回目(12/3(木))
	・ ・ ・	() 1回目(9/11(金)) () 2回目(11/5(木)) () 3回目(12/3(木))
	・ ・ ・	() 1回目(9/11(金)) () 2回目(11/5(木)) () 3回目(12/3(木))
	・ ・ ・	() 1回目(9/11(金)) () 2回目(11/5(木)) () 3回目(12/3(木))
	・ ・ ・	() 1回目(9/11(金)) () 2回目(11/5(木)) () 3回目(12/3(木))

- ・締切は、各講座の開催1週間前までとします(遅れてしまった場合は、事務局へ問い合わせ下さい)
- ・受講登録後、事務局から受講票を送付させていただきます。

■ 問い合わせ先

NPOバイオマス北海道 事務局

〒060-8628札幌市北区北13条西8丁目 北海道大学大学院工学研究院内

TEL: 011-706-7283 FAX: 011-706-7583

TEL&FAX: 011-769-9540(株)大建設計札幌事務所内)

E-mail: biomass_hokkaido@yahoo.co.jp

URL: <http://biomass-do.jp/wordpress/>



<http://biomass-do.jp/wordpress/>